

令和7年度 岩手県立大東高等学校経営計画

校長：大石 敦子

1 校訓・教育目標		校 訓 「切磋琢磨」 教育目標 1 知性を高め、豊かな心を磨き、理想の実現に向けて生涯にわたって学び続ける人間の育成 2 決してあきらめることなく努力を重ね、心身ともに健全で、広く国際的な視野を持ち、社会の発展に貢献できる人間の育成	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	(1) 自ら課題を見つけ、その解決策を考えられる思考力、そして解決策を提案できる表現力を育成します。 (2) 授業、特別活動等において幅広い年代の方々や多様な職種の方々と触れ合うことを通して、相手の心情をくみ取る力や、自分の考えを相手に伝える力を育成します。 (3) 常に国際的な視野を持ち続ける態度を育成します。 (4) 郷土に関心を持ち、卒業後も進んで地域づくりに参画しようとする態度を育成します。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	(1) 生徒の個性や資質・能力を踏まえ、学校設定科目を設け、学科内にコースを設定した教育課程を編成し、多様な進路希望の実現を可能にします。 (2) 「総合的な探究の時間」を核に、地域や社会、さらに国際的な課題解決をテーマに活動し、思考力や判断力を育みます。 (3) 学校外の組織や人材と連携する機会を積極的に創出し、連携を通して自立した社会人を養成します。	
	(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	(1) 学校生活に対して受け身ではなく、主体的に取り組む意欲を持った生徒 (2) 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等を通して他者と積極的に交わろうとする意欲を持った生徒 (3) 多様な価値観を受け入れ、個性を認め合うことのできる生徒	
3 魅力化協働パートナー		一関市役所、一関市役所大東支所、一関商工会議所、一関市社会福祉協議会 摺沢振興会、岩手大学、岩手県立大学、一関市立大東中学校、小原書店 佐藤柊平氏(一般社団法人いわて圏)	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 基礎基本の定着と主体的な学びの推進	・授業がわかりやすく、基礎基本が身につけられると感じている生徒の割合 【80%以上】
		イ キャリア教育の充実と生徒の進路希望の実現	・希望する進路目標を達成した生徒の割合 【大学・短大等 90%以上、就職 100%】
		ウ 豊かな人間性と社会性の育成	・生徒会活動、委員会活動、部活動が活発に行われていると感じる生徒の割合 【80%以上】
		エ「学校いじめ対策組織」の取り組みを中核としたいじめの未然防止と適切な対処	・心身の悩みの相談への対応に満足していると感じている生徒の割合 【80%以上】
		オ 地域活動への積極的な参加と地域に貢献する人材の育成	・学校や地域が行う体験活動やボランティア等に参加した生徒の割合 【75%以上】
		カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導のない体制の構築	・人と違うことが尊重される雰囲気があると感じている生徒の割合 【80%以上】
	(2) 取組方針	ア 基礎基本の定着と主体的な学びの推進 (ア) ICT 機器等も効果的に活用し、主体的に学習に取り組む姿勢を定着させる。 (イ) 教科を問わず授業を参観し意見を交わし合うことで、授業力向上に努める。	
		イ キャリア教育の充実と生徒の進路希望の実現 (ア) 外部機関との連携を強化し、キャリア教育を推進する。 (イ) 進路希望の実現に向けて、個に応じた指導を全教職員で組織的に行う。	
		ウ 豊かな人間性と社会性の育成 (ア) 特別活動や福祉活動等を通して、社会の一員としての公共心を養う。 (イ) 主権者教育や消費者教育等を通して 18 歳成人への自覚を促す。	
		エ いじめの早期発見と適切な対処に向けた「学校いじめ対策組織」の取組 (ア) 授業や学級経営、学校行事等を通して「居場所づくり」「絆づくり」を進める。 (イ) いじめの早期発見のための調査を定期的の実施し、生徒理解と情報の共有を図る。	
		オ 地域活動への積極的な参加と地域に貢献する人材の育成 (ア) 地域の様々な行事等への積極的な参加を通し、社会に貢献する視点を養う。 (イ) いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業における探究活動を推進する。	
		カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導のない体制の構築 (ア) 生徒一人ひとりの個性やよさを認め、適切にほめて伸ばす教育を充実させる。 (イ) 全教職員がこども基本法等への理解を深め、生徒の人権を尊重した教育を推進する。	